

モニタリングサイト1000ガンカモ類調査 調査マニュアル

(第二版 2025年4月1日)

。

お問い合わせ先

NPO法人バードリサーチ 担当:神山和夫
〒186-0002 東京都国立市東1-4-28 篠崎ビル302
電子メール: koyama@bird-research.jp
Tel/Fax: 042-505-4044

編集・発行

環境省自然環境局生物多様性センター
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1
電子メール: biodic_webmaster@env.go.jp
Tel:0555-72-6033 Fax:0555-72-6035

ガンカモ類調査の目的

モニタリングサイト1000ガンカモ類調査は、長期的な定点調査を通して次のようなことをモニタリングします。

(1) サイトの最大個体数

各サイトに飛来するガンカモ類の最大個体数を調べます。

(2) 季節変化

ガンカモ類の個体数が季節によってどのように変化するかを調べます。年3回の調査では把握が難しい場合もありますが、モニタリングサイト1000以外の調査結果も使って、総合的に分析していきます。

調査方法

1. 個体数調査

渡り時期と越冬期に個体数をカウントします。調査対象はガン、ハクチョウ、カモ、カイツブリ、バンの仲間です。湖沼が広くて全数をカウントするのが難しい場所では、湖沼内の一部地域を調査サイトにしても構いません。また個体数が多すぎて数え切れない場合は、概数で数えても構いません。

調査時期

秋・冬・春に1回ずつ以上のカウント調査を行って下さい。

	冬季に対象種が少なくなるサイト	冬季に対象種の数が増えるサイト
冬	越冬時期。凍結すると調査できませんが、凍結したことを調査用紙に記入して下さい。	個体数が安定する12～1月で、毎年同じ時期になるよう調査日を設定。
春・秋	渡り時期の個体数がピークになる時期。	秋は9-11月、春は2-5月に、毎年同じ時期になるように調査日を設定。

カウント調査が難しい場合の対応方法(事前に事務局にご相談下さい)

カモ類が多すぎる場合

1. 種ごとに概数を数える
2. 湖沼の一部を調査区域にする(いつも同じ場所に対象種が生息し、湖沼内の移動によって数が変化しないことが条件です)

遠くて識別できない場合

1. 岸に近いものだけ数える
2. カモ類の総数を(概数で)数える



より多くの回数のカウント調査をされているサイトの皆様へ

ガンカモ類の飛来パターンを調べたいと考えていますので、年3回よりも高い頻度でカウントをされているサイトがありましたら、モニタリングサイト1000にデータをご提供いただけませんか。とくにカモの仲間がいつごろどのくらい渡ってくるかのパターンはほとんど解明されていませんので、サイトにやってくる個体数の多少に関わらず、秋から春までの増減パターンが分かるデータは大変役に立ちます。ご協力をよろしくお願いいたします。

2. ハクチョウの幼鳥比率

オオハクチョウとコハクチョウの幼鳥は灰色がかった体色をしているため、群の何%が幼鳥なのかを調べれば、その年の繁殖成績が分かります。繁殖成績は短期的にはその年の極東ロシアの気候に左右されますが、長期的には地球規模の気候変動や日本での給餌による影響も受けていると考えられますので、長期的にモニタリングしていくことが重要です。

成鳥幼鳥比はサンプル調査で結構です。遠くて識別が難しいものまで数える必要はありませんので、確実に識別できた成鳥と幼鳥の数をご報告下さい。

1度だけ調査を行うサイトでは、1月15日前後に調査を行って下さい。北海道のサイトでは数が少ない時期ですが、全国で同時期に調査をすることで比較ができます。

3. 写真撮影

ガンカモ類に影響があると思われる工事や開発、災害などがあれば、写真をお送り下さい。

4. 報告方法

調査員登録されている方には、報告用のExcelファイルを電子メールでお送りします。
(従来から用紙で結果を送付いただいている方にだけ、調査用紙を同封しています。)

5. データの帰属

調査記録はその調査者・団体に帰属します。環境省はモニタリングサイト1000やその他の自然環境保全施策のためにデータを使用させていただきます。

6. 安全のために

冬の調査には危険もありますので、安全に気をつけて調査をなさってください。傷害保険に加入していますので、万一の怪我の場合は事務局へお知らせ下さい。

調査結果の記入方法

調査結果は、秋冬春の調査がすべて終了してから、まとめて送付して下さい。

1. 個体数調査

■調査用紙の場合

調査ごとに1枚の用紙を使ってください。ハクチョウの成鳥と幼鳥は、[成鳥:幼鳥=(120):(15)]のように記入して下さい。

個体数調査記録票 モニタリングサイト1000ガンカモ類調査(2008-2009)

調査サイト名: ○○××湖	種名	個体数	備考/標識鳥
調査員名: 鴨池冬美	コブハクチョウ		
調査日: 2009年1月10日	オオハクチョウ	20	
調査時刻: 9:00-10:00	コハクチョウ	355	
天気: 晴れ	アメリカコハクチョウ		
凍結: 無/有(氷)水面被度(%) 20%	ハクチョウ類(種不明)		
積雪: 無/有(氷)深さ(cm) 5cm	シジュウカラガン(在来種)		
備考	シジュウカラガン大型亜種(移入種)		
	コクガン		
	ハイロガン		
	マガン	600	飛び立ちの時にカウント
	カリガネ		
	ヒシクイ(亜種不明)		
	オオヒシクイ(亜種)		
	ヒシクイ(亜種)		
	ハクガン		

■Excelファイルの場合

1回の調査記録を1列に記入してください。小サイトに分割している場合は、小サイトごとの記録を記入して下さい。

ハクチョウ類は成鳥と幼鳥を分けて、成●幼▲のように記入してください。

調査地点名	●●沼	●●沼	●●沼
観察者名	白鳥花子	白鳥花子	白鳥花子
調査年月日(必須)	2025/10/15	2026/1/15	2026/3/5
調査開始時刻	6:30	7:00	6:45
調査終了時刻	7:00	7:30	7:15
水域の凍結割合(%)	0	100	0
積雪(cm)	0	10	0
天気	晴れ	曇り	晴れ
気づいたこと(例:希少種の観察,日最大数の記録,天候や人による影響等)			
ガンカモ類がいなかった		○	
コブハクチョウ			
オオハクチョウ	成8&幼2		成5
コハクチョウ	成120&幼30		成70&幼30
亜種	アメリカコハクチョウ		
	ハクチョウ類(種不明)		
	シジュウカラガン		
	コクガン		
	マガン		
	カリガネ		
	ヒシクイ(亜種不明)		
亜種	オオヒシクイ		
亜種	ヒシクイ		
	ツクシガモ		
	オシドリ		
	マガモ	100	70
	カルガモ	25	30
	コガモ	5	
	トモエガモ		
	ヨシガモ		10
	オカヨシガモ		